

鶴岡市の農業を考える

～農業者等との意見交換会～



農業委員会が主催し毎年開催しているこの意見交換会は、「農業委員会等に関する法律」の規定に基づき、農業の最前線で活躍されている方々の意見・要望等を集約し、本市の農業施策に反映させることを目的に実施しているものです。今年度は2月6日、グランドエル・サンを会場に開催され、市議会産業建設常任委員、両JA関係者、各農業団体等の代表者、農業委員、農地利用最適化推進委員、新規就農者6名など約50名が参加しました。

当日は意見交換に先立ち、鶴岡市農林水産部長の高橋和博氏より、「これからの鶴岡市の農業振興に向けて」第2次鶴岡市総合計画から」と題して講演が行われました。



高橋和博 農林水産部長

当日は意見交換に先立ち、鶴岡市農林水産部長の高橋和博氏より、「これからの鶴岡市の農業振興に向けて」第2次鶴岡市総合計画から」と題して講演が行われました。

そして講演の中では、注目

のプロジェクトの説明があり

ました。「旧いこの村庄内」

の活用を中心とした農業人材

育成プロジェクト（案）で、

関係6団体（鶴岡市、JA鶴

岡、JA庄内たがわ、山形大

学農学部、東北芸工大、ヤマ

ガタデザイン(株)の協力を得

て、鶴岡市の農業人材育成シ

ステムの構築を図るものです。

具体的には、長期宿泊を伴う

農業研修による都会からの人

材確保と独立就農の支援、地

元農業者（親元就農・若手農

業者）への研修機会の提供と

研修生との交流機会の提供な

どです。農業委員会は、プロ

ジェクトの実現と成功に向け、

協定締結の一員

として、その役

割を果たしてい

きたいと考えて

います。



講演会に引き続き、「第2次鶴岡市総合計画の推進に向け」と題し、本市農業の課題である「生産拡大と所得の向上」、「人材の育成と確保」を受け、3つのテーマについて意見交換が行われました。

① 農業生産力の向上 (農地集約の推進)

行政側の説明

■米生産の収益性の向上や園芸作物の生産拡大、農業生産と畜産との連携や生産、流通、消費が地域内で循環する農業を目指す。

■中山間地域では地域の資源と特色を生かした永続できる農業経営を実現し、交流人口の拡大による地域の活性化に取り組む。

■藤島八栄島地区の農地集約モデル事業では、耕作地交換希望者9人の農地の耕作者別、色別マップを作成し、話し合いを通じて約3.5haの交換が実現した。受委託圃場については話し合い後に農業委員会が地権者に説明し了承を得た。

初めに統計データより、鶴岡市の農業従事者数と経営面積の推移、新規就農者の推移、農産物産出額（米、野菜、果実、花き、畜産）の推移が示されました。データから伺える鶴岡市農業の現状と問題点を理解し、ユネスコ食文化創造都市に認定された鶴岡市として、これから本市農業がどうあるべきかについて話がありました。

また、魅力ある農業を目指すために、第2次鶴岡市総合計画では、鶴岡市の農業にお

